

Topics from within

AIAA Technical Committee on Communications Systems

編集委員 風神 裕

2003年4月15日 AIAA Technical Committee on Communications Systems (TCCS) がパシフィコ横浜のグランドインターコンチネンタル横浜にて開催された。この日は、International Communications Satellite Systems Conference (ICSSC)-21 初日のコロキウムが開催日であり、コロキウム終了後に TCCS が開催された。



今回は非公式な TCCS 委員会ということであったが、総勢 21 名の出席であった。開催場所が横浜である為、日本側委員は通総研飯田理事長以下 4 名全員が出席。日本からはオブザーバーの資格で、小淵 ICSSC-21 接待委員長、更に、ICSSC-21 事務局のアイシーエス平間さんも出席。

出席者数は TCCS メンバーが 18 名、AIAA 本部から 1 名であり、電話による参加は時差の関係で実行せず。

出席メンバー紹介後、ICSSC-21 の参加登録状況を平間さんから報告、平間さんの今までの苦勞に対し、出席者全員から労いの拍手が沸きあがった。

大きな議題は次回と次々回の ICSSC の準備状況のレビューであった。次回モントレーで開催される ICSSC-2004 の Call for Paper は今回の ICSSC-21

で配布、コロキウム委員長に Dr. J. Pelton が就任、EMS 社も、今まで同様、



図 1 Zook さん(AIAA 本部)と平間さん

論文のCDROM化を担当することが報告された。



図 2 新 TCCS チェア - Dr. T. Butash(左)

奇数年に日本と欧州で交互に ICSSC を開催する方針に変更はないが、2005 年の欧州開催が、Ka-band Conference との共催可否を巡り意見が分かれている。TCCS は通常春に開催されるが、Ka-band Conference は通常秋に開催されており、半年のずれは開催準備上大きな影響がある。AIAA 事務局も、2005 年の共催は困難とコメントした。

ICSSC の大会を活発化する為、MALPD(Military Array Programmable Logic) Conference、AIAA Avionic Systems Conference 他との共催を模索しているが、共催となった場合、参加者の人数は増えるが、衛星通信分野の内容が薄まることが懸念される。今後更に検討を進めることになった。ICSSC も一つの変節にさしかかった感がある。



図 3 4月15日 TCCS 委員会出席者全員の記念写真

出席者全員の記念写真を撮影した後、次回 TCCS 委員会を 9 月 23 日モントレールで開催することを確認し、閉会。

以上